

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1957
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.50, No.5 (1957. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19570501--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田學會雜誌

慶應義塾経済学会

五月号

論 說	
欧州共同市場成立の世界経済的意義……………	山 本 登 (一)
ナポレオン戦争後の恐慌期における 労働運動と急進主義運動……………	飯 田 鼎 (二)
——ウィリヤム・コベットの時代——	
経済学における精密法則の 論理的妥当性と現実適用可能性……………	富 田 重 夫 (三)
産業再編成の最近の特徴と問題点……………	尾 城 太 郎 丸 (四)
——戦後日本の産業再編成による 独占支配強化の諸形態について——	
資 料	
いわゆる中世的自由について……………	宇 尾 野 久 (五)
W・ゴドウィン「政治的正義」……………	白 井 厚 (六)
——初版と三版との差異について——	
学 界 展 望	
書 評 及 び 紹 介	
経 済 学 関 係 文 献 目 録	

第五十卷

第五号

昭和二十五年五月十一日
昭和二十六年二月十三日
昭和二十五年十月二十四日
発行(毎月一日、九日、十三日)
第三種郵便物認可
第三種郵便物認可
第三種郵便物認可

三田学会雑誌

昭和三十三年四月号

定価 金九〇円

(送料 八円)

MITA GAKKAI ZASSI (Mita Journal of Economics)

Vol. 50, No. 4

April, 1957

CONTENTS

Some Critical Analyses on "Recommendation on Medical Security Plan"……………	Page K. Sono (1)
The Goal in Economic Policy and Value-judgement ……………	H. Kato (27)
A Reflection on Theories of Agrarian Crisis A Study on the Character of Agrarian Crisis in the Last Years of the Nineteenth Century (I) ……………	M. Tokiwa (43)
The Fiscal Thought of German Social-democratic Party in its Early Years……………	M. Oshima (67)
Some basic Problems on F. Schönplug's Theory……………	S. Kozima (82)
Reviews and Notes	

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
(The Keio Economic Society)
Editorial communications to be sent to
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
Keio-Gijuku University,
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Price 90 yen

学 界 展 望

均衡点の存在定理

——最近の理論経済学界の一動向——

福岡正夫(八〇)

書評及び紹介

ピータ・F・ドラッカー著『現代の経営(上、下)』

野口祐(八六)

三菱経済研究所著『綿と化繊の産業構造』

尾城太郎丸(八七)

——日本経済構造の分析——

ゼー・アトラス「社会主義における貨幣流通法則の作用について」

加藤寛(八七)

欧州共同市場成立の世界経済的意義

山 本 登

西欧六カ国による欧州「共同市場」並びに欧州原子力共同体の結成(三月廿五日調印)は、世界経済の新しい局面を拓くものとして、注目を浴びている。すでにイギリスは、この共同市場と英連邦との調整を図る目的をもって、より広い地域を範囲とする「欧州自由貿易地域」の構想を練りつつあり、アメリカも亦、年頭の大統領経済教書において、西欧におけるこの二つの機構の設立が、本質的にはアメリカおよび自由諸国の利益に合致するとの観点から、これを支持している。

他方、西欧におけるこの新しい動向に批判的であったソ連は、終局的にはアメリカを加えて、全ヨーロッパを基礎にする広汎な全欧州経済協力案の提案(三月十六日)をもって、調印間近かの西欧案に一つの波紋を投じた。

西欧における共同市場並びに原子力共同体の設立が、このような

欧州共同市場成立の世界経済的意義

反響を喚起しつつあるゆえんは、明らかに戦後の世界経済の現段階において、それが世界経済の地域的な経済統合の構想を具体化し、方向づけていると見られる点にある。それは容易に戦前のブロック経済や広域経済圏の復活を想起せしめるに足り、曾てのごとき世界経済関係の不自由化や梗塞化に対する警戒的態度を生みがちである。

後述するごとく、欧州「共同市場」自体は、封鎖化を避けて開放的であることを方針としてはいるけれども、共同市場の内部における経済的国境の撤廃が、結果として域外諸国に対しては差別的ならざるをえないとの批判は、可成りに強い。

わが国においても、欧州「共同市場」の成立に対する対策の樹立、さらにはアジアにおける共同市場形成の可能性についての検討が急速に進められることとなった。その必要から欧州「共同市場」をめぐる問題点について、各般の考察が試みられつつあるごとくであるが、本稿も亦、その基盤に横たわる世界経済の新動向を明らかにす